

令和7年度 総合的な学習の時間全体計画 江戸川区立南葛西第二小学校

校長名 川浦 孝彦

名称: 二小タイム

学校の教育目標	自立と貢献 小学校における義務教育は、小学校で完結するものではなく、児童が将来、社会的に自立し、国や郷土に貢献できる人材を育成することにある。そのため、本教育目標の達成に力を尽くし、「学力保障」を通して、中学校への人材育成の円滑な引継を目指す。
----------------	--

国が示す総合的な学習の時間の目標
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標
1 地域の人やもの、自身や日本の文化などに関わる探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能を身に付け、地域や自身、日本のよさや特徴、それらを人々が工夫したり努力したりして支えられていることに気付くようにする。 2 地域の人やもの、自身や日本の文化などの中から問いを見だし、課題を立て、それらについての情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現ができる。 3 地域の人やもの、自身や日本の文化などについての探究的な学習に、主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かし、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

育てようとする資質や能力及び態度	
知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
・地域の人やもの、自身などに関わる探究的な学習の時間で習得する知識及び技能を身に付けるようにする。また、人々のよさや工夫、努力によって支えられていることに気付けるようにする。	・他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が関連付けられ、それらが社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする。
思考力・判断力・表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
・予想をもち、問題を設定する。 ・調査などによって集めた情報を分類したり、整理したりして課題解決の考えをまとめ、発表する。	・解決の見通しをもち、問題を設定する。 ・広い範囲から多様な情報を収集し、分析したり、総合したりして課題解決し、目的に応じて発表する。
学びに向かう力・人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
・自分の意志で、目標をもって課題の解決に向けた探究に取り組もうとする。 ・探究的な活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解するとともに、異なる意見や他社の考えを受け入れて尊重しようとする。	・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとする。 ・探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や展望などをもとめたり、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組もうとする。

内 容	学習対象	学習事項
第3学年	【地域】 ・身近な野菜 ・プログラミング学習 ・地域の自然や移り変わり	・南二小はかせになろう(11h) ・インターネットとわたし③(6h) ・元気もりもり、小松菜！(10h) ・江戸川タイムスリップ(8h)
第4学年	【自己、福祉】 ・地域の特色 ・学校の特色 ・福祉 ・私の成長 ・プログラミング学習	・左近川マスター！(13h) ・ユニバーサルデザインって何？(9h) ・これからの私(8h) ・インターネットとわたし④(6h)
第5学年	【生命、環境】 ・生命のつながり ・プログラミング学習 ・学校の伝統 ・地域の安全 ・自然体験 ・環境	・お米作りを体験しよう(10h) ・インターネットとわたし⑤(5h) ・ウィンタースクール(4h) ・ミッション！健康な生活を目指そう ・卒業式に向けて(2h)
第6学年	【キャリア教育】 ・日本の伝統と文化 ・自己の生き方 ・プログラミング学習	・日光移動教室(12h) ・インターネットとわたし⑥(5h) ・ドリームリサーチ(11h) ・卒業に向けて(6h)

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・3年は地域、4年は自己、福祉、5年は生命、環境6年はキャリア教育を主なテーマとする ・各学年で題材を開発する	・教科と関連した指導の重視 ・地域見学や農業体験等、体験活動の重視 ・協同的な学習活動の充実 ・言語活動による体験の意識化	・学年会における連絡調整と支援体制の確立 ・地域教育力の効果的運用 ・担任外の教職員による支援体制の樹立	・ポートフォリオを活用した評価の充実 ・観点別学習状況を把握するための評価規準の設定 ・個人内評価の重視
